

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年8月27日

施設名	高知県立森林研修センター情報交流館	所管課名	林業振興・環境部 林業環境政策課
-----	-------------------	------	---------------------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成18年8月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成24年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80番地		
事業内容	(1) 研修室、木工室、企画展示室、シアターの利用の許可等、許可の取消し等その他の利用の許可に関する業務 (2) 研修室、木工室、企画展示室、シアターの利用料金の収受、利用料金の減免、利用料金の還付その他の利用料金の徴収に関する業務 (3) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 情報交流館の利用促進に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 情報交流館：木造、平屋建、609.4m ² 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：①月曜日（その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日）、②休日の翌日（その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。）、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金：1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円（370円）、シアター630円（780円）、（ ）は休館日		
職員体制	常勤職員： 2人 非常勤職員： 1人 合計： 3人		

2 収支の状況

単位：千円

		19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)
収入	県支出金	14,615	14,409	14,307
	使用料・手数料	156	125	80
	その他	2,582	2,695	1,920
	収入計 (a)	17,353	17,229	16,307
支出	事業費	2,117	2,482	2,010
	管理運営費	4,293	2,884	3,300
	人件費	10,294	10,960	10,997
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	16,704	16,326	16,307

3 利用状況

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	10,197	10,281	10,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>時期: イベント開催時等 方法: イベント等の終了後、感想文の提出を求めている。対象は、主に小学生。 結果: 「楽しかった」、「今まで体験できなかったことが体験できた」、「森や植物のことがよく分かった」、「機会があればまた来たい」等の感想が寄せられ、引率者(先生)方からも良い印象である。</p> <p>○ その他</p> <p>イベント終了後、感想文に寄せられた意見や反省点等の整理・検討、構成団体相互の意見交換による情報の共有を行い、サービスの向上に努めている。また、利用申込書の記入事項で利用者のニーズを把握し、打合せを行い指導内容を決定している。</p> <p>イベント開催時や、学校等が大人数で来館した際には、指定管理者の構成団体のボランティアスタッフも加わって対応し、利用者へのサービスの向上に努めている。また、計画的な企画展の開催、イベントの案内については直接学校に出向き説明をしたり、ホームページで参加を呼びかけるなど、利用者の増に努めている。</p>		
③その他特記事項			

4 平成20年度業務評価

項目	評価できる取組等	改善すべき課題
①適正な管理運営の確保	来館者に対するパンフレットの配布や危険に対する注意喚起を行うなど、施設の管理等を含めて、おおむね適正に運営されている。	後継者の育成に関して、人が多く集まるイベントを行ったときなどを利用し、様々な行事参加を募るなど、理解者を増やしていくことが必要。
②利用者サービスの維持向上	①学校現場からみて、事前の打ち合わせにより学校側の要望を把握し、ニーズに合わせた内容でプログラムを実施するなど質の高い環境学習をコーディネートしてもらえる点で評価できる。 ②福留キャスターの講演や地元団体と共同で行事を行うなど、数多くのイベントを開催し、県民参加の森づくりの普及啓発に寄与している。	現在関わりのあるボランティア団体に対してだけでなく、他の団体の活動や事業を支援していくなどの広がりが求められる。
③利用実績	学校などへの森林環境学習の実績は、施設での実施するものと、出張で実施するものと合わせて16,357人(前年度14,414人)に対して実施され、高く評価できる。また、施設の入館者は10,281人(前年度10,197人)あり、利用者数は申し分ない。	
④収支の状況	当初の予算と実績を対比すると、事業によっては、大幅に変更になっている事業もあるが、合計額ではおおむね予算どおりに執行されている。	
総合評価	A	<p>情報交流館ネットワークの人材を活用した運営がなされているが、構成員の高齢化が進んでいるとのことであり、後継者の育成が望まれる。</p> <p>情報交流館が中心となった事業実施はよくできているが、さらに他団体の活動、事業や行事の運営指導をしていくなどプロデューサー的役割が期待される。</p> <p>学校を対象にした環境教育がしっかりと行われている点は高く評価できる。森林環境教育を含めて環境教育が学校現場では重要になってくるので、今後の取り組みに期待したい。</p> <p>情報交流館を利用するボランティア団体の広がりや、ボランティア団体同士の横の繋がりのコーディネートに期待したい。</p>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの